

---

# 行歯会だより (第34号) 2008年4、5月(合併号)

(行歯会 = 全国行政歯科技術職連絡会)

---

ゴールデンウィークいかがお過ごしでしたか？そして、新年度の異動等に伴い環境が変わった方もそうでない方も5月病は大丈夫でしょうか？

さて、医療制度改革に伴い今年度から開始されることとなった「特定健診・特定保健指導」の特定保健指導実施者として歯科医師、歯科衛生士が実施直前で追加されたところです。しかしながら、歯科保健の介入は、食生活や運動に比べ、低いのが現状だと思います。

このような中、「特定健診・特定保健指導」の試行事業ともいえる「国保ヘルスアップ事業」においてメタボリックシンドローム予防に歯科からのアプローチを行った香川県の取組について、事業に携わられた三豊総合病院歯科保健センター木村年秀先生から情報をご提供いただきました。

## 特定健診・保健指導への歯科のかかわり

- 観音寺市国保ヘルスアップ事業での取り組み例から - (前)

三豊総合病院 歯科保健センター 木村年秀

### はじめに

平成20年度は国の医療制度改革が現実に動き出す大変革の年です。国民皆保険制度を持続可能なものとするために、将来の医療費の伸びを抑えることを目的にして様々な制度が新たに創設されました。医療保険者に健診・保健指導を義務化する、いわゆる特定健診・保健指導もそのうちのひとつです。健診・保健指導にメタボリックシンドロームの概念を導入し、糖尿病等の生活習慣病有病者・予備群25%の削減を目標として設定しています。市町村は国民健康保険の医療保険者ですので、そこに勤務する担当職員は国保被保険者に対して健診・保健指導を実施することによって、被保険者の生活習慣病を減らし、医療費支出を抑制する義務があります。また我々、国民健康保険直営診療施設も、国保保険者の一員ですので、この特定健診・保健指導にかかわるのは当然と考えています。

そろそろ、40歳から74歳の医療保険被保険者に、健診の受診券が質問票とともに配布されると思いますが、ご存知のとおり、国が示す標準的な質問表と健診項目には歯科に関連する項目はありません。歯周病は生活習慣病の1つであり、糖尿病、たばこやストレスが

歯周病の症状を悪化させます。逆に、歯周病由来のサイトカインがインスリン抵抗性を低下させ、糖尿病を悪化させることが報告されています。また、よく噛むことは肥満予防に有効であるなど、歯の健康とメタボリックシンドロームは非常に関係が深いことが知られていますので歯科も関与する必要があるのではないのでしょうか。香川県では、国保の特定健診に使用される質問票に歯に関する項目を追加し、歯科保健事業との連携を図ろうとしています。また、県単独事業として、「歯科保健指導モデル事業」が創設されることになりました。今回、その経緯と昨年度、観音寺市で特定健診・保健指導の試行事業として取り組んだ国保ヘルスアップ事業についてご報告させていただきます。

### 歯科質問票に歯科項目が追加された背景

香川県では、数年前より、香川県国保連合会が、医療費適正化を目的とした保健事業有効活用のための医療費分析事業を全県的に実施、医科と合算した総医療費のなかで歯科の占める割合が上位であること、また、香川県が設置した老人医療費適正化対策検討会では、

特に残存歯数と生活習慣病関連医療費との関係について香川県歯科医師会も協力し、分析に取り組んでいた経緯があります。

平成15年度4か月のレセプト約190万件について、社会保険表章用疾病分類119項目(119分類)により統計値を算出し、年齢階級別医療費を医科の外来と歯科を合算して上位項目をランク付けしたところ、歯科項目の「他の歯及び歯の支持組織の疾患」は、全年齢層を通じて上位に位置していました(表1)。5歳から39歳までと60歳から64歳までは1位、45歳から59歳まで、65歳から89歳までは2位です。また、香川県内において平成17年2月に歯科を受診した者を対象に、残存歯数ならびに歯周病の程度を調査し、さらに医科レセプトと突合した結果、歯が少ない者、歯周病が進行している者は、総医療費、糖尿病医療費、高血圧医療費などが高いことも分かりました(図1、2)。ご存じのとおり、特定健診・保健指導の大きな目的は医療費適正化ですので、この分析結果を基に歯科領域も関与すべきであるということから、平成18年度に小豆島町において特定健診・保健指導の試行事業を実施するにあたり、歯科項目を追加した質問票を使用しました。(表2)小豆島町も、歯科保健事業の取組が熱心な保険者であり、私は国保直診協議会の推薦により、小豆島町から、モデル事業対象者1,272名の健診データを分析する機会を頂き、歯の健康とメタボリック症候群の関連性を検討してみました。その結果、中年期以降、歯周病に罹患していると思われる者は比較的多く、今回の問診でも受診者の半数以上に歯周病の自覚症状を示す回答がありました。

図1 残存歯・歯周病の程度と歯科医療費、総医療費

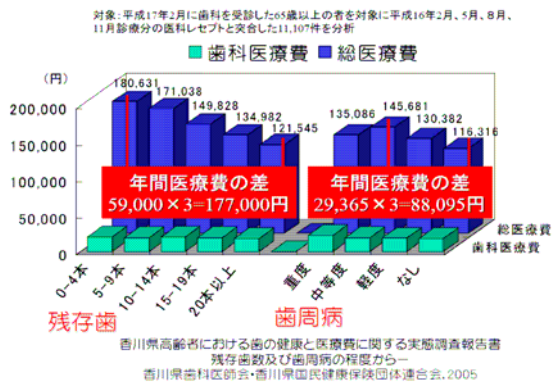


図2 残存歯・歯周病の程度と高血圧性疾患医療費、糖尿病医療費

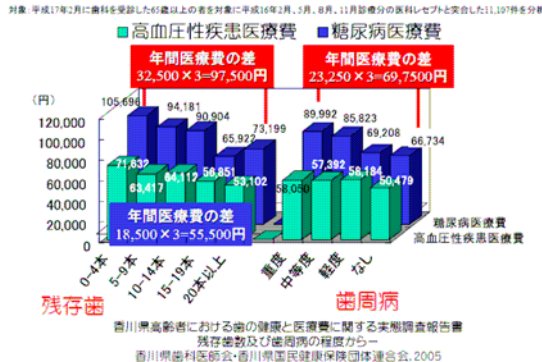


表1 年齢階級別医療費上位5項目(医科・外来と歯科とを合算、平成16年度)

年齢階級	項目	医療費(円)	%	項目	医療費(円)	%	項目	医療費(円)	%	項目	医療費(円)	%
0-4歳	乳幼児医療費	289,649	100.0	0-4歳	289,649	100.0	0-4歳	289,649	100.0	0-4歳	289,649	100.0
5-9歳	小児医療費	1,000,000	100.0	5-9歳	1,000,000	100.0	5-9歳	1,000,000	100.0	5-9歳	1,000,000	100.0
10-14歳	小児医療費	1,200,000	100.0	10-14歳	1,200,000	100.0	10-14歳	1,200,000	100.0	10-14歳	1,200,000	100.0
15-19歳	小児医療費	1,500,000	100.0	15-19歳	1,500,000	100.0	15-19歳	1,500,000	100.0	15-19歳	1,500,000	100.0
20-24歳	小児医療費	1,800,000	100.0	20-24歳	1,800,000	100.0	20-24歳	1,800,000	100.0	20-24歳	1,800,000	100.0
25-29歳	小児医療費	2,100,000	100.0	25-29歳	2,100,000	100.0	25-29歳	2,100,000	100.0	25-29歳	2,100,000	100.0
30-34歳	小児医療費	2,400,000	100.0	30-34歳	2,400,000	100.0	30-34歳	2,400,000	100.0	30-34歳	2,400,000	100.0
35-39歳	小児医療費	2,700,000	100.0	35-39歳	2,700,000	100.0	35-39歳	2,700,000	100.0	35-39歳	2,700,000	100.0
40-44歳	小児医療費	3,000,000	100.0	40-44歳	3,000,000	100.0	40-44歳	3,000,000	100.0	40-44歳	3,000,000	100.0
45-49歳	小児医療費	3,300,000	100.0	45-49歳	3,300,000	100.0	45-49歳	3,300,000	100.0	45-49歳	3,300,000	100.0
50-54歳	小児医療費	3,600,000	100.0	50-54歳	3,600,000	100.0	50-54歳	3,600,000	100.0	50-54歳	3,600,000	100.0
55-59歳	小児医療費	3,900,000	100.0	55-59歳	3,900,000	100.0	55-59歳	3,900,000	100.0	55-59歳	3,900,000	100.0
60-64歳	小児医療費	4,200,000	100.0	60-64歳	4,200,000	100.0	60-64歳	4,200,000	100.0	60-64歳	4,200,000	100.0
65-69歳	小児医療費	4,500,000	100.0	65-69歳	4,500,000	100.0	65-69歳	4,500,000	100.0	65-69歳	4,500,000	100.0
70-74歳	小児医療費	4,800,000	100.0	70-74歳	4,800,000	100.0	70-74歳	4,800,000	100.0	70-74歳	4,800,000	100.0
75-79歳	小児医療費	5,100,000	100.0	75-79歳	5,100,000	100.0	75-79歳	5,100,000	100.0	75-79歳	5,100,000	100.0
80-84歳	小児医療費	5,400,000	100.0	80-84歳	5,400,000	100.0	80-84歳	5,400,000	100.0	80-84歳	5,400,000	100.0
85-89歳	小児医療費	5,700,000	100.0	85-89歳	5,700,000	100.0	85-89歳	5,700,000	100.0	85-89歳	5,700,000	100.0
90歳以上	小児医療費	6,000,000	100.0	90歳以上	6,000,000	100.0	90歳以上	6,000,000	100.0	90歳以上	6,000,000	100.0

表2

「歯について」問診項目

保健指導における学習教材集【歯周病・噛む・歯の健康】より

- 何でもかんで食べられる
- 歯みがき時に歯ぐきから血が出ることもある
- 歯ぐきが腫れることがある
- 歯がぐらぐらする
- デンタルフロスや歯間ブラシを使って歯と歯のすき間もきれいにしている
- フッ素入り歯磨き剤を使っている
- 定期的(年に1回以上)に検診や予防のために歯科医院を受診している

はい・いいえ

香川県特定健診・保健指導モデル事業推進検討会

また、「何でもかんで食べられない」と回答した群は腹囲が有意に大きい(図3)、血糖値が高い(図4)など、歯の健康とメタボリック症候群は密接な関係があることが示唆されました。特定健診・保健指導に歯科が関わる必要性が強調されることになったのです。

国の示す標準的な方法に香川県独自のオプションを加えるには、医療保険者である市町村の理解が必要です。労力も経費も余分にかかってきます。また、実際の健診機関である医療機関(医師会)の承諾も得なければなり

ません。この点につきましては香川県や国保連合会の担当の方々には大変ご尽力頂きました。

図 3

女性で、何でもかんで食べられない者は腹囲が 2 cm 大きい

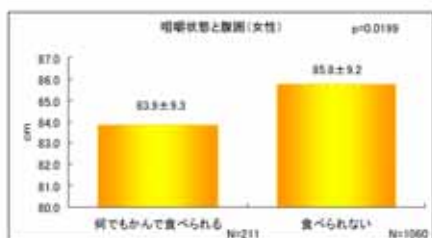
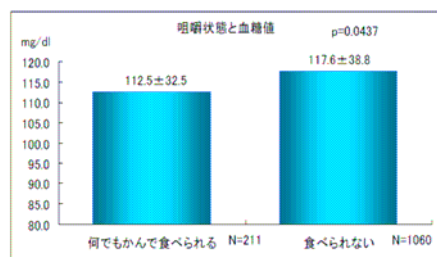


図 4

何でもかんで食べられない者は有意に血糖値が高い



昨年夏には、香川県・香川県国保連合会主催で歯科保健対策研修会が開催されるにあたり、「メタボリック症候群対策における歯科保健からのアプローチの必要性～小豆島町特定健診・保健指導モデル事業の分析結果から～」の講演をさせて頂きました。県庁の尾崎守正医務国保課長、合田恵子先生、香川県歯科医師会の岡田寿朗先生にもご説明頂き、国保保健事業担当者等に対し、歯科保健事業の実施に歯科項目を追加する意義を傳達する機会となりました。また、今年 2 月に開催された平成 19 年度市町保健師研修会ではシンポジウム「医療制度改革と保健師活動～特定健診・保健指導をどう考える - ヘルスアップ事業から～」でシンポジストのひとりとして、後述する観音寺市国保ヘルスアップ事業の報告、「国保直診病院と国保医療保険者とが協働して実施した国保ヘルスアップ事業の成果と今後の課題」を発表させて頂きました。データをどう活用するのかなど、今後も課題はたくさんありますが、県単独事業の推進と共同し県として、歯科保健対策に取り組むこととし、特定健診質問票に歯科項目が追加されることになったのです。

(次号に続く)

## 地域紹介

# 八千代市でも待望のフッ化物洗口モデル事業が開始!

千葉県八千代市母子保健課 尾留川 裕実子

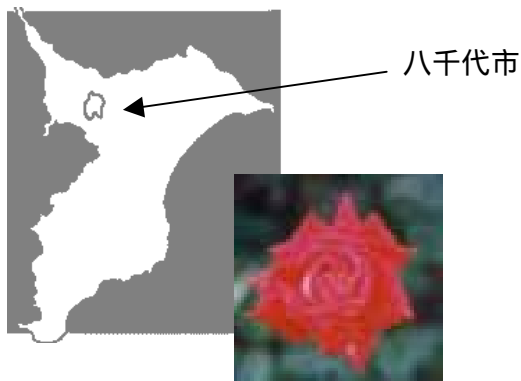
皆さま、初めまして八千代市母子保健課歯科衛生士の尾留川です。行歯会からは、いつもタイムリーに貴重な情報をいただき、勉強させていただいております。

今回は、千葉県八千代市を紹介させていただきます。八千代市は千葉県の北西部に位置し、船橋市・千葉市などに隣接し、江戸時代には大和田宿があり成田山への参拝客のため

の宿場町として栄えました。南部を京成電鉄が走り、平成 8 年に東葉高速鉄道が開通し、首都 30 キロ圏の位置と交通の便、自然環境の良さから、首都圏のベッドタウンとして急速に発展してきました。市の北側半分は、下総台地の緑豊かな自然があります。

市の中央には、八千代市のシンボル「新川」が南北に悠々と流れ、散歩やサイクリング、

お花見でにぎわっています。人口は、18万8624人（20年3月末）で、19年1月に市制40周年を迎え、県内7番目の人口規模の都市となりました。市の特産品としては、にんじん・ねぎ・梨が栽培されています。



梨の花

千葉県には、76名（平成19年度）の歯科衛生士が市町村に勤務しており、八千代市では3名の歯科衛生士が成人・高齢者を担当する健康づくり課に1名、子ども部母子保健課に2名配属になっています。私達2名の所属する子ども部は、平成18年4月に創設されました。創設を機に市内を7圏域に分け、拠点の公立保育園を「地域子育て支援センター」として位置づけ、母子保健と子育て支援を一体にして、妊娠から乳幼児期と一貫した支援をしていく施策を展開しています。19年度から幼児期の親教育について、食育・ワークショップ等の3つのプロジェクトチームをつくり、保健師・栄養士・保育士・助産師・歯科衛生士などが検討し、20年度中の実施を予定しています。また、母子健康手帳の交付も保健センターだけでなく、地域子育て支援センター等の子育て支援部署で実施する他、圏域ごとに関係機関や住民と地域子育て情報交換会を開

催し、子育てしやすい地域づくりをめざしています。

また、八千代市では、16年3月に「八千代市健康まちづくりプラン」を策定し、歯科保健の推進・評価のために、平成18年8月に歯科保健推進協議会を設置し、歯科医師会・健康福祉センター（保健所）・市内幼稚園・保育園・小学校・中学校・保健体育課・母子保健課から推薦された委員により、妊娠期から学齢期までの継続した取り組みを検討しています。今まで歯科保健については、状況により随時関係機関と検討を行っていましたが、本協議会では、各ライフサイクルにかかわる関係団体の担当者が委員となっているので、現場からの状況報告や問題点がだされ、それぞれの考えや情報の共有が図られ、活動の方向性を定めることができるようになりました。会を重ねるごとに、委員同士が慣れてグループワークにも熱がこもり、いろいろなアイデアが出されています。今後これらをまとめていながら、八千代市の歯科保健プログラムをつくりたいと考えております。

この協議会での検討から、20年度には八千代市で待望のフッ化物洗口モデル事業が開始されます。市内でのう蝕罹患率が高く3歳児歯科健診などの受診率の低い地域を選び、その地域の小学校1校（2学年）と保育園1園（5歳児）で実施を予定しております。このモデル事業実施においては、昨年に行歯会視察研修（新潟県弥彦小学校）に参加させていただいたことが、大変参考になっております。千葉県でも少しずつフッ化物洗口が広がってきておりますが、まだまだ壁も多い状況です。皆さまからは、今後ともアドバイスや情報をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

広げよう！フッ化物洗口の輪



# 理事の独り言その33

岡山市保健所健康づくり課東保健センター  
歯科衛生士 藤田 幸子

行歯会の皆様、こんにちは。ゴールデンウィークも過ぎ、いよいよ暑い夏がやってくる季節になりました。

時が過ぎるのは早いもので、2回目の理事の独り言が回ってきました。この数字に何かしらの縁を感じています。

皆さんの職場でも親睦会があるかと思いますが、岡山市保健所健康づくり課でも、「さんさん会」という親睦会があります。この名前の由来は、平成6年度に33番目の保健所政令となったことを契機に、33にちなんで、みんなが太陽のようにさんさんと明るく輝くようにとの思いを込め名付けられました。今回の理事の独り言も33回目になります。近頃バタバタしている私にとって、自分を振り返り見つめ直しなさいというメッセージかと思っています。今回、理事の独り言を掲載させて頂く機会を与えていただいたことに感謝し、気持ちをリフレッシュさせ、日々の業務を通じて健康であることの大切さを伝えていきたいと思っています。

今回は岡山市における「健康市民おかやま21」の中間評価・今後の重点項目について紹介させていただきます。

平成24年度までの後期5年間に取り組むべき項目を決定し、それに向けた取り組みを検討しました。

今後の方向として、「健康を自覚できる人の増加」を上位目標とし、その達成に向けて「世代ごとの目標」「生活習慣病予防に必要な6分野」について、「基本方針」のもとに推進していきます。平成20年度は、今回の中間評価を踏まえ、地域ごとにそれぞれの健康課題をふまえた今後の方向性をたてる予定です。

「生活習慣病予防に必要な6分野」については、「歯の健康」の評価結果のみ紹介させていただきます。

なお、行歯会だより（第20号）地域紹介「おいでんせえ おかやま」で岡山市の保健事業・健康市民おかやま21推進体制図を紹介（河本先生筆）していますので、再度ご確認ください。

健康市民おかやま21についての情報は、ホームページでも紹介しています。

地域での取り組みやイベント情報、ええとこ発見図、食育ガイドブックなども掲載しています。ぜひご覧ください。

岡山市保健所ホームページ

URL : <http://www.city.okayama.okayama.jp/hofuku/hokensyo>



## 健康市民おかやま 21

### 中間評価・後期の重点項目（概要版）

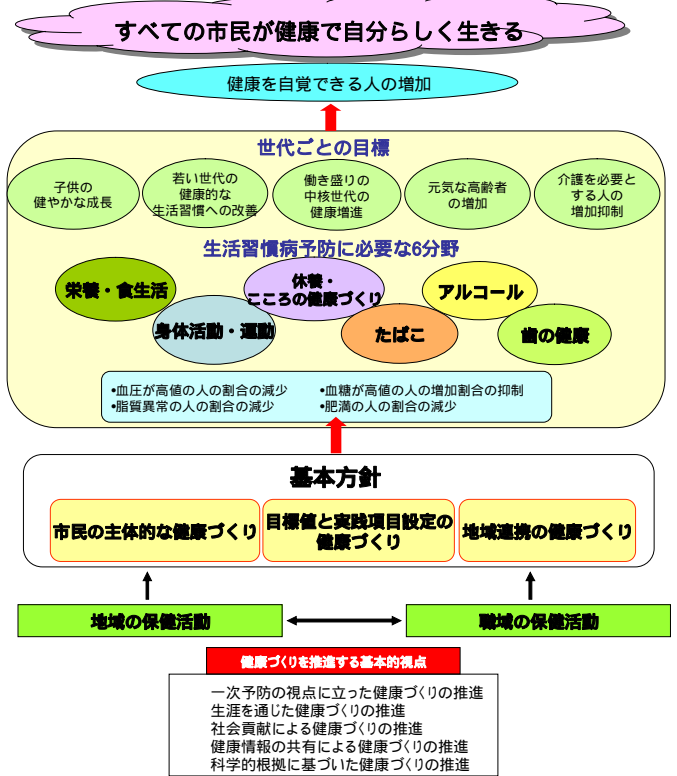
健康市民おかやま 21 とは

すべての市民が健康で自分らしく生きられるまちを目指し、健康日本21地方計画である「健康市民おかやま21」を平成15年に策定しました。

地域、家族、職域、行政等が力を合わせて、市民一人ひとりの主体的な健康づくりを目指しています。

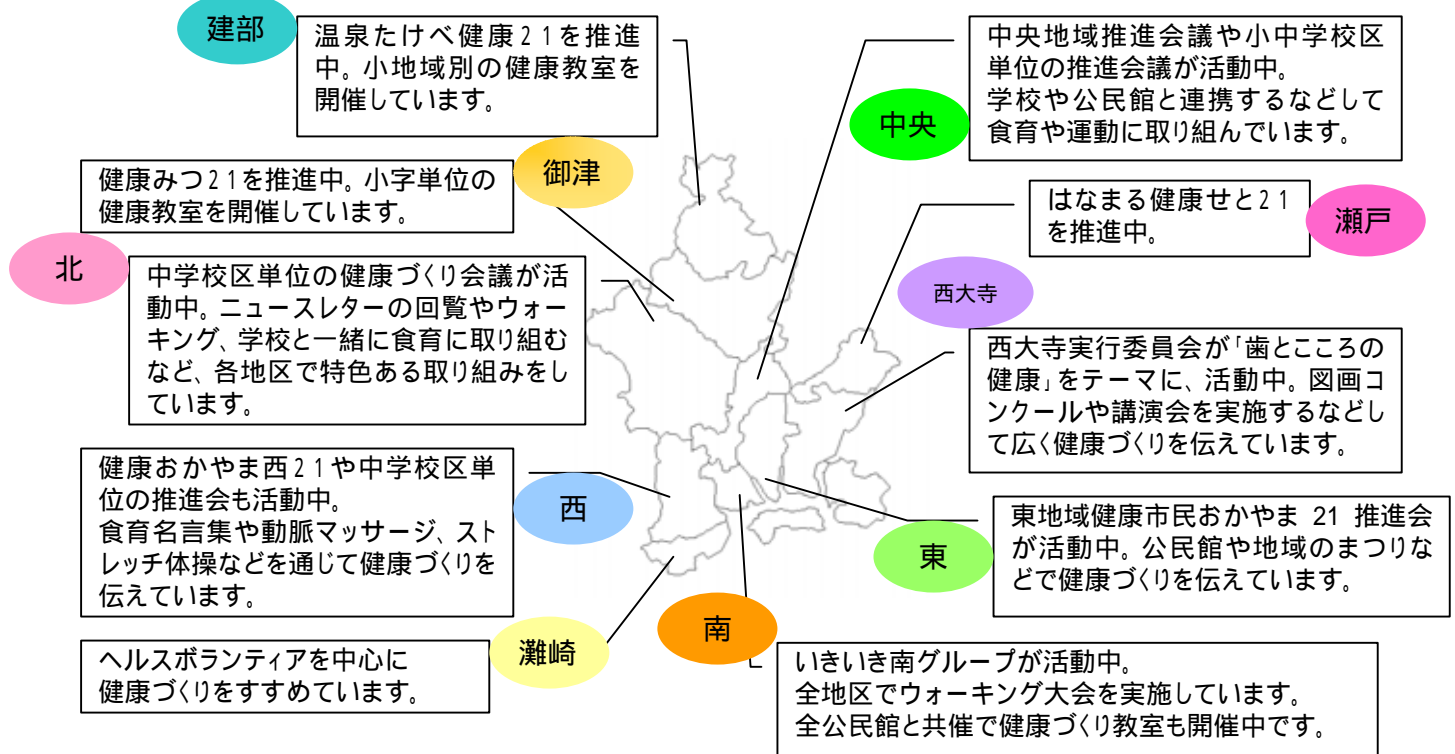
計画のスタート後、市内各地域に推進組織が立ち上がっています。子どもから高齢者まで生涯を通じて健康でいられるよう、地域の健康課題の改善に向けて健康づくり活動をすすめています。

平成19年度には中間評価を行い、計画の進み具合をみると共に、計画を見直し、今後重点的に取り組むべき項目をさがしました。



健康市民おかやま21 体系図  
(平成19年度中間評価時に改訂)

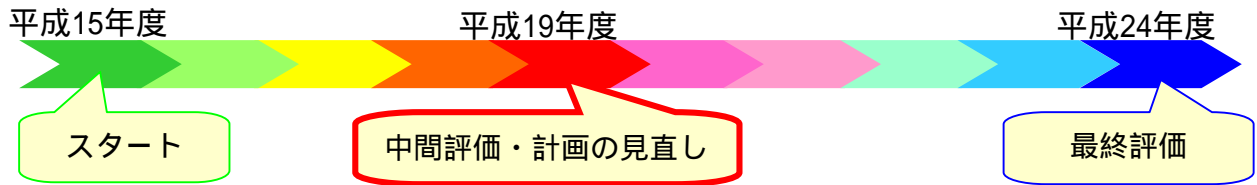
岡山市内の各地域での取り組み (平成15年度~平成19年度)



詳しくは健康市民おかやま21のホームページをご覧ください

## 中間評価概要

「重点目標」の達成度に対する評価、「生活習慣病予防に必要な6分野」の成果の評価、「地域での推進体制」の評価それぞれを行ないました。



## 中間評価総評

### 生活習慣病予防の目標

- 健康診査で血圧が高値の人の割合の減少
- 健康診査で総コレステロールが高値の人の割合または善玉コレステロール(HDL)が低値の人の割合の減少
- 健康診査で血糖が高値の人の増加割合の抑制

- 検査数値上は目標を達成。
- ただし、検査数値は正常範囲だが現在治療中という人は増加。

### 生活習慣病予防に必要な6分野の目標



- 壮年期の男性や青年期の男女の生活習慣の問題が特に明らかになった。
- 適切な食習慣、運動習慣のあるものは少なく、ストレスを感じる人の割合は増加。
- 多量飲酒者は増加しており、特に40代男性に多い。
- 肥満の男性は増加傾向。
- 男性の喫煙率は著明に減少。
- 子どもの歯の項目は改善。

### 基本方針

市民の主体的な健康づくり  
地域連携の健康づくり

- 市民主体の推進組織が市内各地に発足。中学校区や小学校区単位の組織も増加。取り組んでいる既存組織も増加。
- 公民館や学校との連携はすすんできている。職域との連携は不十分であり、今後の課題である。

## 今後の方向

- 「健康状態がよいと感じられる人の増加」を上位目標とする。
- 不健康な生活習慣が明らかになった壮年期の男性・青年期の男女へ重点的に働きかけていく。
- 人と人がつながれるよう、地域のネットワークづくりを重視していく。

## 新しい目標項目

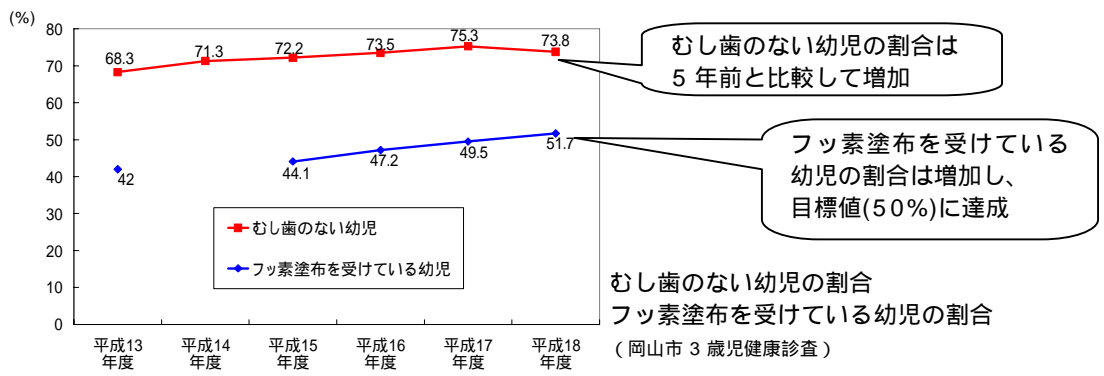
	現状値	目標値
健康状態がよいと感じられる人の割合 <sup>1</sup>	76.9%	78%
健康づくり運動に参加している人の割合 <sup>1</sup>	16.5%	20%

# 歯の健康



## 現状と課題

- ・ 歯の健康に気をつけている人が増えた。
- ・ 子どものむし歯は少なくなった。
- ・ フッ素塗布を受けている幼児の割合は増加し、目標値に到達した。
- ・ フッ素洗口実施している小学校・幼稚園は増加したが、目標には到達できていない。
- ・ 成人の歯周炎の割合は悪化した。



## 主な目標項目の達成状況

(達成度: 目標値に達成 改善 ほぼ変化なし ×悪化)

	策定時	現状値	目標値	達成度
年一回歯科検診を受けている人の割合 <sup>1</sup>	19%	26%	30%	
むし歯のない幼児の割合(3歳児) <sup>2</sup>	68%	74%	80%	
12歳児の一人平均むし歯数 <sup>3</sup>	1.87本	1.29本	1本以下	
フッ素洗口を実施している児童、生徒の割合 <sup>4</sup>	4小学校	9小学校 (3幼稚園)	40校以上	
成人の進行した歯周炎の割合 <sup>5</sup>	48%	55%	減少	×

データ出典 1 市民アンケート調査 2 3歳児健診 3 学校保健概要 4 岡山市保健所把握 5 歯周疾患検診

## 今後の重点項目

- ・ 歯ぐきの健康に心がけている人を増やす。
- ・ 年齢に応じたフッ素の利用方法をPRし、乳歯や永久歯のむし歯予防を進める。

## 今後の取り組み

- ・ 地域ぐるみで歯の健康づくりに取り組む。  
 \* フッ素塗布の推進 \* おやつとの与え方 \* 歯科検診の受診勧奨
- ・ かかりつけ歯科医を持ち、自分にあったむし歯・歯周病予防の方法を身につける。  
 \* フッ素の利用 \* 歯間ブラシの使用
- ・ 学校ぐるみでフッ素洗口に取り組むことを目指す。



# お知らせ

## 第26回地域歯科保健研究会

会期 平成20年8月2日(土)13:00~18:00(受付開始 12:30)、3日(日) 9:00~12:30

会場 北海道歯科医師会館2階大講堂(札幌市中央区北1条東9丁目11番地)

対象 地域歯科保健医療に携わる者

内容 情報提供 「歯科保健法の過去・現在・未来」

講師 東京歯科大学社会歯科学研究室 石井拓男 教授

情報提供 「新潟県歯科保健推進条例の狙いと現実」

講師 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科 大内章嗣 教授

情報提供 「世界各国の歯科保健法」

講師 日本大学歯学部医療人間科学教室 尾崎哲則 教授

グループワーク

会費 研究会参加費

・歯科医師・医師 9,000円 ・歯科衛生士・保健師・その他 5,000円

・学生 3,000円 ・報告書(CD-R)のみ希望 3,000円

懇親会費 5,000円

申込方法 郵便振替の振替用紙(青色)の通信欄に

郵便番号 住所 氏名 連絡先電話番号 所属 職種 懇親会参加

の有無を明記の上、下記口座へ参加費及び懇親会費を直接お振り込みください。

振り込みが確認できた時点で、申し込み受付とさせていただきます。(手数料負担は各自)

口座番号 02780-7-45321

口座名称 第26回地域歯科保健研究会

申込締切 平成20年7月4日(金) 会場の都合上、先着順(約150名)にて申し込みを締め切ります。

連絡先 第26回地域歯科保健研究会事務局

北海道空知保健福祉事務所保健福祉部(岩見沢保健所) 秋野 日野

〒068-8558 北海道岩見沢市8条西5丁目

TEL.(0126)20-0171 FAX.(0126)22-2514

Email natuzemi2008@gmail.com

HP <http://natsuzemi2008.webdeki-hp.com/>

## 第2回社会歯科学研究会総会

開催日時 平成20年6月22日(日)13時~17時

会場 新歯科医師会館 一階大会議室

参加費 5,000円

内容 総会

シンポジウム 「医療制度改革の問題点と提言」

シンポジウム 「歯科保健の単独法が与える影響を考える

~ 歯科保健の単独法は何かができるか ~」

懇親会

申し込み、内容の詳細は以下を参照してください。

[http://socialdentistry.com/2nd\\_meeting.aspx](http://socialdentistry.com/2nd_meeting.aspx)

## 国立保健医療科学院研修予定

<http://www.niph.go.jp/entrance/h20/index.html>

### 歯科衛生士研修(定員:20名)

概要:行政機関等に勤務する歯科衛生士の資質向上を図る研修

期日:H21.1.19(月)~1.30(金) 受付:H20.10.1(水)~10.31(金)

詳細は下記 URL 参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h20/course/418sika.html>

### 臨床研修指導歯科医(保健所)養成研修

概要:保健所等に勤務する歯科医師が指導歯科医として効果的な臨床研修を行う能力を身につける

期日:H20.8.28(木)~8.29(金) 受付:H20.5.1(木)~6.6(金)

詳細は下記 URL 参照

<http://www.niph.go.jp/entrance/h20/course/431rkdhk.html>